



日本共産党

やつお春雄

町会議員4期

提案・共同・実現  
あなたの声を届けます

実現にがんばります

●学校給食費は無償に

値上げの決定は撤回し、議会が全会一致で採決した「全面的無償化の決議」によりそい無償化を

●ゴミ袋代は半額に

県内10自治体で無料で回収しています

●国保税、介護保険料の引き下げを

3月議会で値上げが決議されましたが、日本共産党のやつお春雄町議と山田みつよ町議は反対しました。税金の使い方を改め、負担減を求めます

●「のるーと号」の改善

「香芝市のように自宅前まできて欲しい」など、使いやすさやルートの改善を求める声が寄せられています。安心便利な公共交通めざしてがんばります

●子ども医療費助成は完全無料に

広陵町は一部負担金がありますが、斑鳩町や平群町などでは完全無料です

企業団体献金は禁止を

(敬称略)



広陵町から国に意見を

日本共産党が2議席の議案提案権で提案

結果は否決

自民党派閥の政治資金パーティー収入の不正が噴出しています。

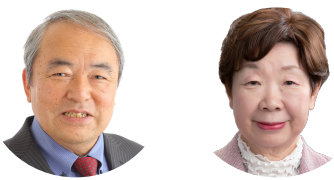
3月議会で日本共産党町議団は、金権腐敗政治を根絶し、国民の政治不信を回復するため、政治資金パーティーも含めた企業・団体による寄付の禁止を求める意見書を提案しました。

意見書は、反対多数で否決されました。企業団体献金も政党助成金も受け取らない日本共産党は、金権政治を根絶するために全力をつくします。

賛成 5人	反対 8人
青木義勝	岡橋庄次
坂口友良	岡本晃隆
谷禎一	坂野佳宏
八尾春雄	笹井由明
山田美津代	堀川季延
	千北慎也
	吉村裕之
	吉村眞弓美

議長で採決に加わらず  
山村美咲子

# 3月議会 日本共産党 やつお春雄 山田みつよ の質問



**住民のみなさんの願いを  
しっかりと届け実現を迫る**

## 国民健康保険税・介護保険料 の引き上げ反対

**【山田】** 国保加入者は所得が100万円以下が多く、しかも町独自の減免制度は廃止になり、物価高騰で国民負担が大変な時に今でも高い保険料がさらに上がる人がいる。県統一保険税は反対します。

**【町の答弁】** 介護保険の条例改定は、13段階にして値上げを抑えているが、保険料が上がる人がいる。

**【町の答弁】** 介護の利用がしにくい状態が起きている中で、値上げは町民が納得できるものではありません。

## 学校給食の無償化を 引き上げは撤回を

**【やつお】** 保護者に負担増を求めないのであれば引き上げ決定は取り消されるべきだ。大きな住民運動も取り組まれた。取り消しの手続きを取らないのは引き上げに賛成した議員に町が忖度しているからではないのか。おしる議会が全会一致採択した「学校給食

**【町の答弁】** 費の全面的無償化（令和4年12月議会）に寄り添って無償化の推進を。

**【町の答弁】** 引き上げは決めていただいたが、保護者負担を求めない経過措置をとっている。議会が採択した無償化の意見書に寄り添い、県や国への無償化の働きかけを継続する。

## 学童保育や通学路対策 子どもたちのスポーツセンターを

**【山田】** 住宅が増え、保育所、学童クラブなど待機が出ている。子どもたちの放課後の居場所としての学童を増やすべき。通学路対策も子ども達が増えて危険度が増すのではないか。

**【町の答弁】** 学童は地域の公民館などの活用を検討。沢の通学路はバイパス道路で長楽工区が完成すれば交通渋滞緩和され、通学路への進入車が減る予測。

**【山田】** リレーセンター跡地に子どもたちのスポーツセンターを。防災機能も必要。

**【町の答弁】** 跡地計画は若い方を入れた跡地検討委員会などの組織を立ち上げこの提案も入れて議論していただく。

## 下水道料金は引き上げるな

**【やつお】** 県下に2カ所ある浄化センターの一つが広陵町にある。国や県は「下水道事業の先進地になつてほしい」と町を誘導し多額の借金（八尾・山田が初当選した16年前には残高70億円もあった）を背負わされた歴史の経緯がある。下水

**【町の答弁】** 道利用者に金利を含めすべての費用を負担せよというのはいかしいのではないか。

**【町の答弁】** 一般会計からの基準外繰入金によって収支の均衡を図っている状態だ。令和6年度に下水道事業経営戦略を定めたい。

## 子ども医療費たてかえ払いが8月から なくなる。完全無料を

**【やつお】** 現物給付（窓口たてかえ払いなし）にかじを切った方針であり歓迎。窓口でいったん支払いをせよという手法は医者にかかりにくくするもので子育てを進める立場とは相いれない。住民の声によるところが大きい。大きな成果ではないか。

**【町の答弁】** 奈良市で現物給付の動きがあり、他の自治体や医師会もこの流れに沿って現物給付方式への理解が進んだ。現物給付化の方が利用者にとって便利だ。

**【山田】** 子どもの医療費一部負担金は町の負担で無料にするべきだ。

## 日本共産党の2議席で しっかり討論ができます

広陵町議会では、なぜ反対するのか、なぜ賛成するのか活発な討論が行われます。日本共産党は、反対理由もしっかりのべて討論します。

たとえば、国民健康保険税の問題では山田議員が「保険料が上がり、町独自の減免がなくなった」と反対討論。無所属の議員が「町の減免は廃止して県の制度に統一すべき」と賛成討論を行った後、やつお議員が「全国の自治体は一般会計から繰り入れて独自で値上げを抑えている」と再び反対討論。日本共産党が2議席あるので、「言われっぱなし」ではなく、きちんと反論することができます。